

K- 510

数理解析研究所講究録 156

情報科学の数学的理論



京都大学数理解析研究所

1972年8月

情報科学の数学的理論

研究集会報告集

1972年2月24日～26日

目 次

1. 最近のスイッチング理論 1

東大 情報研 野崎昭弘

2. 論理回路による計算時間 20

九大 理 棚次奎介

3. 多値論理素子が細分的であるための条件 34

東北大 工 丸岡 章

東北大 通研 本多波雄

4. 集合演算による木オートマトンで受理される
木の集合の特性化 51

東北大 通研 小島政明

✓ 本多波雄

5. Indexed Grammar の木構造について 69

—uvwxy 定理の拡張—

✓ 京大 理

林 健志

6. Deterministic Graded Pushdown Automata 83

✓ 京大 数理研 笠井琢美

7. エルゴード理論におけるエントロピー 98

✓ 京大 数理研 十時東生

8. gsm の解読可能性 111

京大 理 佐藤興二

9. Structure of determinative subspace in
cell space 133

九大 理 山口優子

10. 変換半群の生成元、基本関係式、元の長さ 147

青山学院大 理工 岩堀信子

11. プログラムの形式的正当性 167

京大 工 謝 章文

12. カウンタ機械の計算可能性 183

電通大 金山 裕

13. 片側文脈規定形文法について 198

名大 工 伊藤英則

稻垣康善

福村晃夫

14. ANALYZER の簡略化 213

阪大 基礎工 菊野 享

15. 有限状態逐次決定過程とその決定問題 230

京大 工 萩木俊房